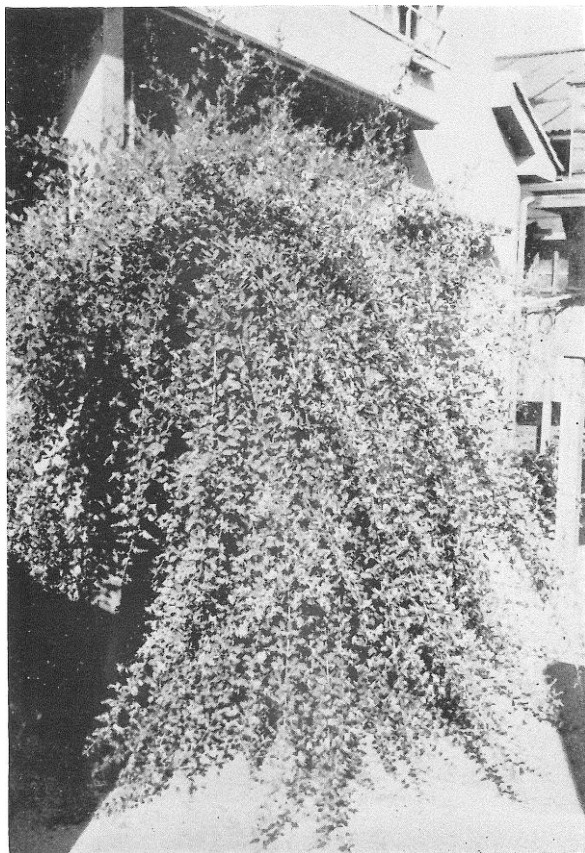


岡山畜産便り1959.10



備中山萩

明治36年岡山県立高松農学校教諭二階重楼先生が吉備郡高松町鼓山羽柴秀長陣所に於て発見され、当時学会に発表し、牧野博士が新品種として備中山萩と名付けられたものである。

特徴としては花大きくつる長く葉の裏面が少し白い。渋味がないのと、青刈とした場合葉が落ちにくいので、青刈として家畜飼料に好適である。

現在では鑑賞用として極少数が植栽されているが、飼料木として将来取り上げられるであろう。

この写真は岡山市上石井岡山県獣医師会の玄関で今を盛りと咲き乱れている備中山萩である。